

**東京都ミニラグビー交流大会
レフリングのポイントと小委員会からの伝達事項
(中・高学年)**

**東京都ラグビースクール校長会（ミニ部門）
ルール・レフリー小委員会**

2021年10月16日

伝達の目的：

全てのプレーヤーである子どもたちの安全の確保と育成の観点から、東京都ラグビースクール内で規則に則り、統一したレフリングを目指し、ラグビーの発展に寄与することを目的とする。

ラグビー憲章

品 位	(INTEGRITY)
情 熱	(PASSION)
結 束	(SOLIDARITY)
規 律	(DISCIPLINE)
尊 重	(RESPECT)

ラグビー憲章

レフリーもラグビー憲章を体現し、子どもたちにラグビーの素晴らしさを伝えましょう！

具体的には、

- ◆ プレーヤーにとって、試合は晴れの舞台です。晴れの舞台が素晴らしいものになるように、レフリーもしっかりとスタイル（ラグビージャージ、短パン、ソックス着用）し、品位をもって、全てのプレーヤーを尊重し試合に臨むようお願いします。



**伝達事項の前に
ミニラグビーでのレフリングのポイントをお
伝えします。**

危険なタックル→ペナルティー



ハイタックルは非常に危険です。
必ず注意・指導しましょう！
基準は脇の下の線に手が伸びたら！



振り回すフレーは、バランスを崩して倒れるので危険です。受け身が取れず、頭を強打した場合には脳震盪の原因にもなると思われる場合には早めに笛を吹いて優しく指導を！

危険なタックル(続き)
スパイク/チップタックル (かち上げタックル)
→ペナルティー

タックル時に相手プレーヤーを持ち上げて、そのプレーヤーが頭から地面に落ちる**スパイク/チップタックル** (いわゆる**かち上げタックル**) で受け身が取れず、頭を強打し救急搬送、脳震盪の疑いの診断という事象が2020年秋の東京都スクール秋季大会の高学年の試合で実際に起こりました。

タックルが起こった時点で当該のプレーが起きないように**レフリーからプリベンションコールを出す**とともに、当該プレーをレフリーが確認できるようタックルからその周辺のプレーに**目線を残す**ようお願いします。

具体的には、タックルが起こり、タックラーが足を持ち上げようとした時に「**もうそれ以上、足を上げないで!**」「**それ以上、上げない!**」といったコールをお願いします。

また、通常の練習試合や交流戦等においても、当該プレーが発生しないよう**日常の練習から規則に則した指導、レフリングの徹底**をお願いします。

ノーバインドタックル(ショルダーチャージや突き飛ばし) →ペナルティー

ノーバインドタックル(ショルダーチャージや突き飛ばし)は、つかかっとなって行こう、あるいはラグビーをはじめたばかりの子どもが行ってしまうことがあるようです。

ノーバインドタックルを受ける側にも、ノーバインドタックルする側にとってもケガのリスクが高まります。

危険なプレーが起こった場合はプレーを止め、子どもには優しく指導をするようお願いします。

試合中も安全にプレーできるように指導を！

バインドを指導しているシーン



バインドの仕方
足の構えのチェック



黒の1番は、腰より頭の
位置が低い

「危ない」と感じたら「笛」を吹いて停止！



レフリーはいつでも笛を吹いて
「ゲームを停止出来る権限」
があります！（スクラムで再開）

倒れて重なっている
下敷きの子供が危ない！

2019年9月改正のローヘッドの規則の遵守

○「第9条 不正なプレー」に「32. ローヘッド **【Original】**」を加え、下記の通りにする。

「32. ローヘッド **【Original】**」

いずれのプレーヤーもモールへの参加を含む全ての局面において頭を肩や腰より低く（ローヘッド）した状態でプレーをすることはできない。

具体的にはボールの争奪、及びタックル時、ボールを確保する行為、ラックの形成前からラック・モール形成時を含めた全てのプレーにおいて、故意、あるいは継続的に顔を下に向け、肩や腰よりも頭を下げたままプレーすることをいう。

ボールの位置から離れたスweepや頭が下がる突っ込み、ブリッジング、或いはボールに対して蓋をするような行為もローヘッドとなる。 罰：ペナルティ

- ・ローヘッドに関わる規則は、U-12ミニラグビー競技規則（中学年・高学年）において、プレーヤーである子どもたちの安全を考慮し昨年9月に改正された新しい規則です。
- ・日常の練習から当該規則に則した指導及びレフリングの徹底をお願いします。

タッチジャッジになったら

敵味方関係ありません。グラウンドに入ってプレーしている子どもたちが主役です。レフリーと一緒に最高のゲームを作り、子どもたちが最高のパフォーマンスが出せるよう、声に出したい気持ちをグッと心にしまって公平にふるまってください。

伝達内容

- 1. レフリーの新型コロナウイルス感染症対策
(関東協会レフリー委員会より抜粋)**
- 2. 可能な限り有資格者によるレフリングの実施
(スタートレフリー、ミニラグビーレフリー以上)**

伝達内容

- 1. レフリーの新型コロナウイルス感染症対策
(関東協会レフリー委員会より抜粋)**
2. 可能な限り有資格者によるレフリングの実施
(スタートレフリー、ミニラグビーレフリー以上)



東京都ラグビースクール用に抜粋

新型コロナウイルス感染症対策 (MOガイドライン)

2020年9月22日
関東協会レフリース委員会

COVID-19感染症対策行動方針

予 防

- 3密を避ける
- 身体的間隔の確保（2m）
- マスクの着用

日常的な健康観察

- 直近 14 日間で発熱等の風邪症状がないこと

消 毒

- 洗浄と消毒
石鹼や消毒液で
- 用具の消毒
笛、旗、インカム等
- 共用部
ドアノブ、スイッチ等

感染予防対策

- 必要以上の大きな声での会話は極力避ける
- スポーツ中に唾や痰を吐くことは極力控える
- 水分補給はボトルなどの回し飲みはしない。

試合前

- **健康経過観察（検温・体調 ※14日前から）**
- **レフリー用具の消毒**
笛、カード、コイン、フラッグ等
- **持ち物チェック**
給水ボトル、消毒液、石鹸（必要に応じて）

試合日

- **移動方法チェックと自己管理（マスク着用）**
- **個人体調記録報告書のスクール内管理**
- **受付、行動導線の確認**
- **到着したら、手洗い・消毒（用具の消毒を含む）**
- **不必要な関係者との接触（挨拶・会話）は避ける**
- **責任者会議は最短時間で実施する**
3密防止・間隔確保、非接触に努める

試合中

- 可能な限り口に付けるものの衛生に気を付ける
- ハーフタイムでの笛や手の消毒励行
- 唾吐き、咳エチケットに気を付ける

試合後

- **用具の消毒（フラッグ等）**
- **個人用具の消毒（笛、カード等）**
- **試合後にチーム関係者とは接触せずに速やかに会場を離れる。
レフリングに関する質問等があれば電話やメール等でコンタクトする。**
- **試合後14日以内に体調不良が発生した場合は報告する。**

COVID-19感性防止対策に関する連絡体制

試合後体調不良時連絡先：

**各スクール校長 or スクール事務局を通じて
都大会小委員長（早川小委員長）へ**

新型コロナウイルスから

「プレーヤー」

「自分」

「家族」

「ラグビー」

を守る

不自由をお掛けしますが、宜しく願います。

伝達内容

1. レフリーの新型コロナウイルス感染症対策
(関東協会レフリー委員会より抜粋)
2. **可能な限り有資格者によるレフリングの実施**
(スタートレフリー、ミニラグビーレフリー以上)

2. 可能な限り有資格者によるレフリングの実施 (スタートレフリー、ミニラグビーレフリー以上)

- 正しい知識でレフリングすることもプレーヤーである子どもたちの安全を守る大切な役割です。
- 都大会は対戦チーム同士からレフリーを出す規定です。
- 現在はスタートレフリー資格をオンラインで90分で取得できます。
- 「可能な限り有資格者 (スタートレフリー、ミニラグビーレフリー以上) によるレフリング」を要請します。

- **各スクールともに、積極的な資格取得をお願いします。**

スタートレフリー資格に関するリンク先：

- <https://www.rugby-japan.jp/news/2020/05/23/50480>

- **ご理解とご協力のほどよろしくお願いいたします。**

ご不明な点がある方は下記までご連絡ください。

東京都ラグビースクール校長会（ミニ部門）
ルール・レフリー小委員長 野村 栄治

連絡先：srfsnomura@gmail.com

携帯：090-4724-7773